

倉庫内のドローン活用実証実験に関するお知らせ

三菱商事ロジスティクスは「イノベーション」をマテリアリティ（重要課題）に位置付け、新しい技術や管理手法を用いたレジリエントなサービスの創出に取り組んでいます。

ドローンによる動画を活用した定期的な循環巡視やアセットの保守は、従来は難易度の高かった上空からの監視を可能にするため、物流拠点の検知体制を飛躍的に高める可能性があります。

倉庫内におけるドローン活用の可能性を検証するため、当社はALSOK様による協力の下、7月15日に松伏事業所の倉庫内で飛行試験を行い、安定性や操作性、画像解像度の面で良好な結果を得ました。機体は壁面と貨物との位置関係を（全方位）画像で検知し、また人やフォークリフトなどの動く標的も避けることができるため、半自律飛行による常時監視により、将来はステークホルダーの間で即時に細密な情報を共有できるようになる可能性があります。

当社は今回の結果を分析し、倉庫内におけるドローン活用の可能性についての更なる検証を進めてまいります。

